



FRP防水の施工方法を教えてください

A

FRP防水の標準的な工法である密着工法(2プライ)の施工方法を説明します。

(1) プライマー塗布

プライマーは、刷毛、ローラー刷毛などを使用し、均一に塗布する。

(2) 防水用ポリエステル樹脂塗り(下塗り工程)

防水用ポリエステル樹脂と硬化剤を規定量調合し、攪拌・混合し、刷毛またはローラー刷毛で規定量を均一にむらなく塗布する。

(3) 防水用ガラスマット #380敷き, 防水用ポリエステル樹脂塗り(積層工程)

イ) 下塗り工程の硬化後、防水用ポリエステル樹脂と硬化剤を規定量調合し、攪拌・混合し、刷毛またはローラー刷毛で規定量を均一にむらなく塗布する

ロ) 施工部位に適した寸法に割り付け、裁断された防水用ガラスマットをしわのないように張り付ける(切断部は毛羽立たない状態にしておく、重ね目が目立ちにくい)

ハ) 直ちに規定量の硬化剤を混合した防水用ポリエステル樹脂をローラー刷毛で均一にむらなく規定量を塗布する

ニ) 防水用ポリエステル樹脂を防水用ガラスマットに含浸させる。さらに、防水用ポリエステル樹脂を完全に硬化させるために脱泡ローラーを用いて充分に脱泡する

ホ) 防水用ガラスマットを積層する工程は、一連作業とする

ヘ) 防水用ガラスマットの張付けにあたっては、ガラス繊維が毛羽立たないように表面を平滑に整える

ト) 防水材の塗重ねおよび塗継ぎ間隔を超えた場合には防水材製造業者の指示による研磨などの処理を行う

(4) 防水用ポリエステル樹脂塗り(中塗り工程)

イ) 防水用ポリエステル樹脂に着色する場合は、トナーを調合して攪拌・混合する。トナーは防水材製造業者の指定するものを使用し、添加量は規定量とする

ロ) その後、硬化剤を規定量調合し攪拌・混合して、刷毛またはローラー刷毛で規定量を均一に塗布する

(5) 保護・仕上げの施工(上塗り工程)

イ) FRP防水層が硬化後、防水層を点検し、ポリッシャー、ディスクサンダーなどで表面を調整する。その際に深削りしないように注意する。防水層の研磨作業の際には、保護眼鏡および防塵マスクを着用する。また、工具の取扱いには充分注意する

ロ) 表面調整後、清掃およびアセトンを染み込ませたウエスでFRP防水層を拭く

ハ) 非塗装部分には、汚染防止のためにマスキングテープなどを用いて養生を行う

ニ) 施工手順は立上り、役物、平場の順に塗布し、塗重ねは乾燥時間に注意する

(6) 仕上材(ポリエステル)の場合

イ) 仕上げ用樹脂にあらかじめ顔料が入っている場合は、調合前によく攪拌して分散する。トナーで着色する場合は、製造業者の指定するものを規定量調合して、攪拌・混合する

ロ) 仕上げ用樹脂と硬化剤を規定量調合し、攪拌・混合し、刷毛、またはローラー刷毛で規定量を均一にむらなく塗布する

(回答：FRP防水材工業会)